



審査した案件と結果	
知事提出の議案	議員等提出の案件
・予算 …… 2件(可決)	・議員派遣 …… 3件(可決)
・条例 …… 2件(可決)	・意見書 …… 3件(可決)
・事件 …… 2件(可決)	・決議 …… 1件(可決)
・計画 …… 1件(可決)	
・人事 …… 1件(同意)	
・認定 …… 3件(継続審査)	
	請願
	・1件 …… (不採択)

令和5年9月定例会が開催され活発な論議が交わされました。

令和5年9月定例会が9月12日から10月6日まで開かれました。本会議初日は、「令和5年度長崎県一般会計補正予算(第4号)」などの議案が上程され、大石知事が県政の重要事項について報告し、当面する諸課題について所信を述べるとともに、提出議案について提案理由の説明を行いました。

19日からの一般質問では、12名の議員が登壇し、人口減少対策、県立大学や離島留学制度など教育行政、海外との交流、政策評価制度、子ども子育て支援やひとり親家庭支援対策等の福祉行政、地域の文化的資源の活用、農林水産業の振興対策、石木ダム建設や道路整備、都市計画等の土木行政、離島振興対策、スポーツ振興対策、感染症対策など様々な事項について活発な論議が交わされました。





補正予算については、橋元赤潮被害対策に早急に対応するための「令和5年度長崎県一般会計補正予算(第4号)」が9月12日の本会議で原案のとおり可決されました。

このほか、地域における聴覚障害児の支援体制を構築するための協議会設置や家族支援等の実施、幼稚園型認定こども園の施設整備の支援、輸出に対応できる農産物の産地育成のための輸出事業計画の策定支援、道路橋梁街路や港湾事業の推進、新型コロナウイルス感染症による緊急時のサービス提供に必要な介護人材確保と安心・安全に業務を行うための職場環境の復旧・改善の支援に要する経費などについて編成された補正予算案が閉会日の本会議で可決され、合計で一般会計68億2,007万2千円の増額補正となりました。

本定例会では、11件の議案を原案のとおり可決、同意し、「令和4年度長崎県一般会計決算及び各特別会計決算の認定について」など3件の議案を予算決算委員会に付託し、閉会中の継続審査となりました。

また、「私学助成の充実強化等に関する意見書」など3件の意見書及び1件の決議を可決し閉会しました。

お知らせ

- 動画配信** 本会議・委員会の中継・録画配信を行っています。一般質問の表題横のボタンから各議員の一般質問の録画にアクセスできます。
- 公式SNS** 長崎県議会公式 SNSはこちら →  
- ホームページ・会議録** 会議録全文を掲載しています。  
- 【掲載内容】**
 - 平成8年2月～令和5年6月定例会の本会議・常任委員会
 - 平成24年4月～令和5年2月分の特別委員会
 - 本会議・委員会は、原則としてだれでも傍聴できます。
 - ◎次回の定例会は、令和5年11月27日に開催予定です。
- テレビ放送** 「県議会レポート」令和5年11月5日(日) 15:55～16:25 NCC長崎文化放送 5ch

一般質問

政策評価制度活用について
山口 初寛 (諫早市/改革21)

【質問】前知事の県政運営、行政政策に一定の点検・評価したうえで、どのような手法、考え方で新たな行政政策を展開しているのか。

【答弁】前知事が築いてきた県政運営の方向性について継続すべきものは継承しつつ、新たな視点、発想を取り込みながら、新しい長崎県づくりに力をつけていく。そのため、子ども施策を県政の基盤に位置付けるとともに、概ね10年後のありたい姿等を示したビジョンの策定を進めており、多面から選ばれる長崎県の実現を目指してまいります。

One Young Worldの開催について
浅田 ますみ (長崎市/自由民主党)

【質問】One Young Worldの平和をテーマとした分科会を長崎市に誘致し、多くの若者を呼び込むためには、県としてしっかりと予算を投じるべきではないか。

【答弁】参加者については、スポンサー企業等から金銭的支援を受けて参加するため、大きな自己負担は生じないという点に留意しながら、県として環境の整備について、今後、産官学で構成される協議会において検討を深めてまいります。

県立大学第4期中期計画について
溝口 英美雄 (佐世保市・北松浦郡/自由民主党)

【質問】県立大学において、国の支援制度を活用した新たな理工農系学部を新設することにより、大学の魅力をより高めていくことが必要であり、スピード感をもって検討すべきと考えますが、どうか。

【答弁】県立大学において第4期中期計画が策定されており、本年度、大学の今後のあり方を検討する組織を立ち上げる。新たな学部の設置については、スピード感を持ちつつも、県内でのような人材が必要となるかを精査し検討してまいります。

各産業別の産業振興における課題の認識と人材確保について
前田 哲也 (長崎市/自由民主党)

【質問】半導体関連、航空産業の分野は九州の中で優位性を保っているのか。また、成長分野における人材確保をどう考えているか。

【答弁】半導体については、九州でも製造品出荷額が上位に位置する。また、航空機については、三菱重工航空エンジンの県内工場立地や20社を超える地場企業のサプライチェーンが形成されている。成長分野における人材の確保については、県外の大学と連携し、専門人材の確保を強化してまいります。

棕呂路トンネルの建設について
堤 典子 (佐世保市・北松浦郡/改革21)

【質問】棕呂路トンネルの事業化に向けた見直しはどうか。

【答弁】棕呂路トンネルの建設については、現状の交通量が少なく、多額の費用が想定されることから、費用対効果の面に課題があると考えている。このため、板山トンネル開通後の交通状況などを調査した上で関係者と共同で道路の在り方について検討するとともに、今後の地域活性化の取組も踏まえて地域と意見交換をして考えてまいります。

南島原市におけるいちごの輸出促進について
中村 一三 (南島原市/自由民主党)

【質問】南島原市におけるいちごの輸出の取組状況と、県での今後の輸出拡大に向けた取組はどうか。

【答弁】南島原市のいちご産地では香港、シンガポール向けの輸出等が今年度は新たにマレーシアへの販路開拓を図るなど積極的に輸出先国・輸出量の拡大に取り組まれている。県としては南島原市の優良事例も参考に、本県農産物の更なる輸出拡大を図るため、現地商社や販売店等に対するトップセールスや長崎フェアの開催などに取り組んでまいります。

肉用子牛価格下落対策について
石本 政弘 (松浦市/自由民主党)

【質問】肉用子牛価格下落に対する本県独自の緊急かつ抜本的な支援策が必要と考えるが、今後の県の取組はどうか。

【答弁】国は九州・沖縄ブロックの平均価格が60万円を下回った場合に差額の4分の3を交付する制度を創設しており、県では周知徹底を図っている。しかし、本県の子牛価格は他のブロック補填を受けても下落分を補いきれない大変厳しい状況にあるため、生産者が安心して経営継続できるよう早急に必要継続策を検討してまいります。

養育費の確保について
こうまなみ (長崎市/自由民主党)

【質問】子どもの健やかな成長を支えるため、養育費の確保は最も重要であり、何らかの取組が必要と考えるがどうか。

【答弁】ひとり親家庭等自立促進センターで、養育費の取決めや履行の確保等に関する無料の弁護士相談を定期的に行っている。母子世帯は、全体の約3割にとどまっている。養育費の取決めを確実に履行させることが重要であり、公正証書等強制力がある書面作成等に對し支援ができないか検討してまいります。

ワクチンハラスメント防止に関する取組について
まきやま 大和 (大村市/改革21)

【質問】ワクチンハラスメントとは、ワクチン接種を強要することなどであるが、新型コロナウイルス感染症にかかるワクチンハラスメント防止に関する県の取組はどうか。

【答弁】ワクチン接種を望まない方に接種を強要する行為は、場合によってはハラスメントに該当すると判断される可能性もあると認識しているところであり、接種を強要したり、接種を受けていない人に差別的な扱いをすることがないよう、周知に努めてまいります。

夜間中学について
宮本 法広 (佐世保市・北松浦郡/公明党)

【質問】不登校特例校を含めた夜間中学の設置に向けて、県中各市区町において要請を行い、反応があればしっかりと支援したいとのことであったが、その後の県の対応、各市町の反応はどうか。

【答弁】8月に佐世保市から設置に向けた研究を進めたいとの意向が示された。現在、市議会において関係予算案が審議されており、成立の際は、積極的に助言、協力するとともに教育課程の編成や教員の配置、入学希望者のニーズ調査等について、必要な支援をしてまいります。

長崎南北幹線道路のアクセス道路について
畠岡 孝介 (西彼杵郡/自由民主党)

【質問】今年度、新規事業化された長崎南北幹線道路のアクセス道路の現在の進捗状況と今後の見通しはどうか。

【答弁】長崎南北幹線道路のアクセス道路は、井手園交差点の混雑緩和、滑石、時津インターチェンジへのアクセス向上などを目的としている。詳細なルート選定を終了し、現在、構造物の設計やトンネル建設に向けて地地下水調査等を行っている。今後、地元説明会を開催し、用地測量を行い、来年度中に用地取得に着手してまいります。

高校生の離島留学制度について
鶴瀬 利博 (壱岐市/自由民主党)

【質問】離島留学制度で壱岐市に在住していた吉岐高校の男子生徒が3月に行方不明の後、亡くなった事実を明かされたことにより、制度の改善に取り組んでいくのか。

【答弁】生徒や里親のSOSに迅速に対応するための組織体制の構築や危機管理マニュアルの整備に取り組むとともに、専門家を交えた入学者の事前相談の充実や、あるいは地域全体で生徒を見守る環境の整備など、関係市との連携を強化しながら改善を図ってまいります。

常任委員会 委員長報告

予算決算委員会 委員長/吉村 洋

【質問】「養殖魚赤潮被害緊急対策事業費」に關し、今後、関係機関と連携し、漁業者に寄り添った共済制度の見直しをしてほしいが、どうか。

【答弁】関係機関との連携は、過去の被害をもとに、しっかりと構築していたが、今回の被害は過去に経験したことがなかったもの。また、共済制度について、現在の制度では、満足な補償が受けられないことから、国に対して、見直しを強く要望しており、今後も引き続き要望していきたい。今後、今回の代替魚購入支援等により、産地が復活し、事業者が希望を持って事業を継続できるよう力を尽くしたい。

【主な論議事項】公共交通事業継続緊急支援費/聴覚障害児支援中核機能モデル事業費/道路新設改良費の繰越/選ばれる県産農産物輸出拡大事業費 等

農水経済委員会 委員長/鶴瀬 利博

【質問】「半導体関連産業の経済波及効果」に關し、国内で投資が活発化している半導体関連産業において、諫早市への1,000人規模の工場立地が決定しているが、その経済波及効果はどれくらいか。

【答弁】現在公表されている、投資総額600億円、雇用規模1,000人という情報をもとに試算すると、10年間で約2,460億円の経済波及効果が見込まれる。

【主な論議事項】高等技術専門校の入校者数増加対策/藻場の回復に向けた取組/ALPS処理水の放出問題に対する本県水産物の消費拡大対策/肉用牛繁殖経営に対する支援/森林の公益的機能維持/農林技術開発センターの設備老朽化対策 等

観光生活建設委員会 委員長/清川 久義

【質問】「交通局の運転士不足」に關し、16名の欠員が生じているとのことであるが、2024年問題を見据え、今後どのように取り組むのか。

【答弁】採用試験を切れ目なく実施するなど幅広く募集しているが、応募者が少ない。今後、処遇改善を図っていくとともに、嘱託として採用後、2か月程度の研修終了時点で、正規職員として登用できないか労働組合と協議している。また、大型自動車第2種運転免許の取得年齢が引き下げられたことを踏まえ、新高卒者などにも採用の目を向け、運転士の確保に努めていきたい。

【主な論議事項】県管理の二級河川の支流の安全性維持/障がい者スポーツへの取組/県内の大気環境 等

文教厚生委員会 委員長/千住 良治

【質問】「長崎県子育て条例行動計画の変更について」に關し、従来の就学前の幼児医療費助成に、高校生世代を対象とした医療費助成が追加されたが、市町が強く要望している。小中学生への助成を追加することはできないか。

【答弁】子どもの医療費助成制度については、市町と協議を重ね、県の厳しい財政状況の中、今年度から市町と連携した、18歳までの高校生世代を対象とする制度を導入したばかりである。現時点では更なる対象拡大は難しいが、引き続き検討を進めたい。

【主な論議事項】県立大学の学生育成の取組/高校生の離島留学制度/地域包括ケアシステムの構築/不登校対策/令和7年度公立高校入学者選抜の改善/長崎県手話言語条例素案/結婚支援事業の推進 等

インターンシップ生と議員の意見交換会

9月21日に、議会事務局でインターンシップを実施している長崎県立大学の3年生3名と自由民主党の畑島貴男議員、改革21の白川結美議員が意見交換会を行いました。意見交換会では、各学生が関心のある行政課題などを議員へプレゼンテーションし、議員からは発表に対するの助言などを行いました。また、自由に意見交換し、若者の意識醸成を図るとともに、議会としても若者の関心を把握することができました。

議場傍聴席への字幕表示システムの導入

令和5年9月定例会から、耳の不自由な方などが議会を傍聴しやすいように、議場での発言を瞬時に文字化し、傍聴席に設置した43インチのモニターに字幕として表示するシステムを導入しました。ただし、自動入力のため、一部誤変換や、通信状況により遅延・切断することがありますのでご了承ください。なお、傍聴用補聴器の貸出や手話通訳者の配置については、これまでどおり利用可能です。